

様式第8号

事業報告書

令和8年5月29日

石巻市ものう地域福祉デイサービスセンター			
法人・団体名	社会福祉法人 東北福祉会		
代表者名	中里 仁	設立年月日	平成11年4月1日
所在地	(法人本部) 仙台市青葉区国見ヶ丘六丁目149番地1 (せんだんの杜ものう) 宮城県石巻市桃生町中津山字八木46番地3		
電話番号	022-303-0086 (本部) 0225-76-5325 (ものう)	FAX番号	022-208-7600 (本部) 0225-76-2853 (ものう)
E-mail	s-monou@sendan.or.jp (ものう)		

現在運営している類似施設	所在地	主な業務内容	管理運営期間
			自 年 月 日 至 年 月 日
			自 年 月 日 至 年 月 日

指標名		単位	目標値	実績値
活動指標	年間利用者数	人	5,200	5,873
成果指標	再利用率	%	90	100

管理業務に関する内容 (別紙可)

1 施設の管理運営状況

- ① 各種制度理解、社会情勢等の情報収集、把握を行い、地域の実情やニーズに合わせた、新たな地域支援事業の創出に繋げていく。
- ② 運営推進委員会等を通して、地域課題の把握・共有を行い、地域住民と共に、社会資源の活用と公益的事業の展開による課題解決に努めていく。
- ③ 全職員が「倫理行動方針・基準」「就業規則」等組織のルール遵守を基本とし、尊厳保持の意識の中で利用者主体の生活づくりの専門家としての自覚を持ち実践に努める。
- ④ 地域住民を対象とした、介護・福祉に関する勉強会や体験できる機会を設け、地域の福祉力向上と育成につなげていく。
- ⑤ 利用者確保に向けた積極的な事業運営と、経費削減等による安定経営に向けた取り組みの強化を行っていく。
- ⑥ 各種災害や様々な感染症に対して、適切かつ迅速に対応すべく、定期的な学びの機会と実際を想定した訓練を実施し、対応強化に努める。

2 施設の現状に対する認識及び今後の在り方(課題とその解決策)

- ① 全ての職員が法人理念を理解し、全ての利用者の方のニーズに沿って、良質なサービスの提供に、安心できる暮らしの場の提供に向けた取り組みを強化し展開する。
- ② 介護人材確保に向けた取り組みを継続的に行い、関係機関との連携を見据えた活動を行っていく。
日頃のOJT、OFF-JTを効果的に活用し育成に努め、職場の安全確保と健康の保持増進を図り、職員一人一人が働きやすさ、やりがいを持てる職場環境の改善に取り組んでいく。
- ③ 地域の方との「対話」を増やし、地域ニーズを「知る」機会を設け、「地域の課題」に対し「住み慣れた地域での暮らし」の継続及び実現に向けた地域連携の強化に努める。
- ④ 施設建物および設備の老朽化対策を計画的に取り組み、維持管理に努める。

3 施設運営について

(1) 年間の管理運営実績

※ 事業実施報告書(別紙1)、収支決算書(別紙2)、事業実施決算書(別紙3)のとおり

(2) 開館日数・休館日数

開館日数 261日

(3) 施設利用者数

延利用者数 5,873人

(4) 利用者に対するサービス向上のための方策

1. 職員個々のスキルアップ及び能力向上のため、内部研修、外部研修、動画視聴研修等の学びの機会を設け支援を行い、法人理念に基づいた良質なケアを継続し

提供できる人財の育成に努めた。

2. 各種制度理解を深める学びの機会を設け、コンプライアンス遵守の徹底とサービスの質向上に努めた。
3. 利用者のニーズ把握に努め、マネジメントサイクルの強化をチーム全体で取り組み、継続的な実践に努めた。
4. 感染症や様々な災害、防犯に関する学びの機会を設け、対策の理解と実践力向上に努めた。
5. 感染症や災害に関するマニュアルや事業継続計画（BCP）の理解や訓練を通し、実践力向上に努めた。

(5) 利用者ニーズの把握やその実現策

利用開始前に自宅での訪問調査を実施し、ご本人やご家族の要望等を把握しサービス提供開始している。また、ケアプラン（通所介護計画）に添ったサービス提供を行うと共に定期的にカンファレンスを実施しモニタリング・評価を行っている。

また、家族との情報交換については、利用時の状態や状況、提供したサービスについて記入する手帳を活用しながら、ご家族から自宅での様子を伝えていただき情報共有を図っている。

常に自立支援を念頭に、日常の関りから、ご本人のできること・したいことを引き出し、利用者同士が互いに交流し合えるよう、運動や活動、個人の嗜好に応じた活動への参加を積極的に働きかけている。

口腔機能や転倒予防に関する機能維持活動を行い、利用者の健康意識や生活意欲向上に働きかけを行った。

4 施設管理について

(1) 施設の適正な維持管理の方策

- ・指定管理業務月次報告による石巻市への定期報告
- ・定期の清掃（日常の清掃・年1回のワックス清掃）
- ・指定管理者（社会福祉法人石巻市社会福祉協議会）との連携
- ・給湯・暖房設備保守点検業務

(2) 地域社会に対する貢献

- ・地域との協働・連携について、座談会、認知症サポーター養成講座、認知症カフェ等、気軽に集まれて、話がしやすい機会を設けていく。
- ・各種学校向けおよび地域住民向けの福祉に関する勉強会開催の検討と実施
- ・各種実習の受入、福祉の職場体験事業等、各事業所にある知識・技術を地域に還元し、地域貢献と福祉の担い手育成に寄与。

(3) 経費節減のための方策

経費削減については、コストの削減、消耗品や水道光熱費の節約をはじめ、職員個々のコスト意識を向上させ経費削減対策を事業所全体で推進している。各部署においては更に具体的な削減対策を掲げ、総務課より毎月の事業実績状況報告、予算の執行状況を全職員へ周知している。また、5S活動に取り組み、業務内容の見直しを行い効率性のある事業運営及び介護事故や交通事故防止に向けたリスクマネジメントの徹底を推進している。

(4) 組織及び人員配置並びに従業員の雇用状況及び勤務体制 別紙組織体制図のとおり

(5) 従業員の研修実績

(1) 職員の資質、専門性の向上並びに事業に対する目標意識の共有を図るため、内部・外部研修の実施。

- | | |
|---|----------|
| ① 外部研修（研修報告会含む） | 1回/1ヶ月 |
| ② 能力・勤務年数に応じた内部研修
（全体職員研修・中堅職員研修・新任研修・職種別研修） | 1回/1～2ヶ月 |
| ③ 各委員会の実施
（リスクマネジメント・虐待防止・身体拘束をしないケア・感染症対策・褥瘡対策・衛生委員会） | 1回/1ヶ月 |
| ④ 日常的なOJT指導 | 随時 |
| ⑤ 自己啓発休暇の推進 | 随時 |
| ⑥ オンライン研修（内部・外部） | 随時 |
| ⑦ 動画視聴による研修 | 随時 |

(2) 法人理念を基に介護職員として「求める人材像」や「研修体制」を明確にし、介護職員としての地位式・技術・価値観等の向上を図るための研修等の実施。

- | | |
|-----------------------|-------|
| ① キャリアパス制度における目標管理勉強会 | 1回/半期 |
| ② 支援担当者研修 | 1回/半期 |
| ③ キャリアの構築に向けた専門研修 | 1回/随時 |
| ④ 資格取得支援（研修） | 1回/随時 |

(6) 法令遵守

1. サービス開始時、または介護計画作成や変更のため、外部関係機関と情報を共有する場合に。事前に利用者または家族に説明し書面で同意を頂いている。
2. せんだんの杜ものう個人情報保護規定に沿い、個人情報を使用した会議内容や相手方について経過を記録し、請求があれば開示する。

5 その他

(1) 防犯・防災・安全管理の体制や対応

- ・ せんだんの杜ものう緊急時対応マニュアル、防災・防犯マニュアルを整備している。
- ・ せんだんの杜ものう自然災害等発生時に関する事業継続計画（BCP）を整備している。
- ・ せんだんの杜ものう新型コロナウイルス等感染症に関する事業継続計画（BCP）を整備している。
- ・ 各種BCPに基づいた訓練と防犯用品の設置及び研修を実施した。
- ・ 本体施設（ファミリオ）で非常災害時備品や非常食の確保を行っている。
- ・ 施設内において、事業所独自の火災訓練を実施した。
- ・ 施設周辺の環境整備の確認と非常持ち出し物品を確保している。
- ・ 発電機や設備の使用について、職員に周知する場を設けたり、災害備蓄品を整備している。（本体施設）
- ・ せんだんの杜ものう内に防災班を設置し定期的に話し合いを持ち、職員の防災への意識付け取り組み等検討し、研修も行っている。

(2) 災害等の非常時の体制や対応

- ・ せんだんの杜ものう緊急時マニュアル、防災、感染症マニュアルを整備している。
- ・ 防犯用品の設置及び研修を実施している。
- ・ せんだんの杜ものう防災班を設置し、定期的に話し合いに参加することで、職員の防災意識付けや取り組み等を検討している。

(3) 情報公開を行うための措置について

1. 個人情報保護法を厳守し利用者その家族に関わる個人情報の利用目的を公表している。
2. 事業所の運営状況を閲覧できるよう設置している。
3. 事業所の運営規程の概要、従業員の勤務体制、利用料その他のサービスに選択に資する重要事項を見やすい場所に掲示している。
4. サービス事業所の情報の公表についてインターネット上で閲覧できる。

(4) 特記事項

※集会施設等については、3(4)、4(2)、4(3)及び4(5)の記載は不要です。

(別紙1)

事業実施報告書（令和7年度）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
利用者、利用者家族の安心した在宅生活継続のための支援	(1) 利用者の利用目的やニーズに基づいた介護計画作成と質の高いサービス提供。 ① 利用相談、利用開始時の丁寧な対応とアセスメントの実施。 ② 介護計画に基づいたサービス提供とモニタリングの実施。 ③ 機能維持向上に向けたグループ活動・個別活動の実施。 ④ 各職員が役割を持ち、楽しみのあるレクリエーションや余暇活動の企画と実施。 (2) 利用者が自己選択しサービス利用が継続できるような取り組み、実践。 ① 利用者同士が自ら交流できるような環境整備、居場所作り。 ② 自立支援を念頭に、本人が役割を持ち活動への参加ができるような場面づくりを行う。 ③ 交流や活動を通して地域社会との繋がりを継続できるようサポートしていく。	随時 2回/年・随時 通年 通年 通年 通年 通年
専門的スキルの向上とチーム力強化	(1) スタッフ間の情報共有と働きやすい環境整備 ① 各委員会への参加と情報共有 ② 各自のキャリアパス制度に基づいた内部・外部研修への参加。 ③ 定例会議の開催と課題共有、ケアの振り返り、事業実施。 ④ リスクマネジメント、感染予防対策の徹底。 ⑤ 送迎時の安全運転及び添乗者車の安全誘導の徹底。 ⑥ 専門誌の定期購読と専門的知識・技術の向上。 ⑦ 5S活動への取り組み (2) キャリアパス制度の理解と事自己	通年 随時 通年 通年 通年 通年 通年

	目標達成のための取組 ① 自己目標を意識したケアの実践。 ② 日頃のケアの振り返り、仕事の悩み等を支援担当者、スタッフ間で確認するための面談実施。 ③ チーム内、上司への報告・連絡・相談の徹底。 ④ 対人援助専門職としての自覚を持ちコミュニケーションスキルの向上に努める。介護計画作成と質の高いサービス提供。	通年 通年 随時 通年
地域住民、他職種、関係機関との連携・ネットワーク	(1) 他職種、関係機関との連携 ① 必要に応じた利用者の状態把握と関係者との情報共有。 ② サービス担当者会議、地域ケア会議等への積極的な出席。 ③ 日頃から顔の見える関係づくりに努める。 (2) 地域住民、ボランティア団体と関係者との情報共有。 ① 新たな地域支援事業を見据えた地域展開の検討。 ② 地域資源の把握と地域行事・催し物の情報提供。	通年 随時 通年 随時 通年
安定した事業運営・経費削減	(1) 事業所の特性を理解し稼働率アップ・経費節約の取り組み実践。 ① 定期的に関係機関へ利用状況を報告し、新規利用者確保を意識する。 ② 事業所パンフレットを有効活用し情報発信する。 ③ 余暇活動やレクリエーションで使用する物品は、生活用品などリサイクル可能な品々を活用する。 ④ 利用が定員に満たない場合には、スポット利用の受入が行えるよう、利用計画と予定を把握し、マネジメントしていく。	通年 通年 通年 通年

注意

- 1 年間（年度中途から管理を行っている場合は、その中途の日から年度末まで）の実施事業を記入してください。
- 2 年度ごとに作成してください。

(別紙2)

令和7年度 石巻市もう地域福祉デイサービスセンターの管理運営に関する収支決算書

団体名 社会福祉法人 東北福祉会

(単位:円)

		金 額	内 訳	備 考
項 目	指定管理料	0		
	利用料金	45,807,400	介護料収入41,634,350円 利用者等利用料収入3,820,050円 その他の事業収入353,000円	
	その他	3,050,035	預金利息12,800円 拠点区分間繰入金2,037,235円 サービス区分間繰入金1,000,000円	
収入合計(A)		48,857,435		
項 目	人件費	33,376,551	職員給料19,886,053円、賞与5,131,300円 非常勤職員給与3,368,435円 退職給付支出466,500円、法定福利4,323,635円 退職給付引当資産支出200,628円	
	事務費	951,533	福利厚生費193,779円、旅費交通費10,949円 研修研究費5,800円、事務消耗品費133,343円 印刷製本費70,950円、通信運搬費228,568円 租税公課71,600円、渉外費、手数料、雑費等236,544円	
	事業費	7,575,503	給食費2,772,792円、保健衛生費191,992円 教養娯楽費51,311円、日用品費81,463円 水道光熱費1,599,182円、燃料費1,207,965円 消耗器具備品費775,160円、車輛費888,019円 雑費等7,619円	
	管理費	2,358,119	修繕費365,640円、保守料626,663円 業務委託費151,249円、保険料254,599円 賃借料959,968円	
	その他	4,224,349	拠点区分間繰入金支出4,006,895円 サービス区分間繰入金支出217,454円	
支出合計(B)		48,486,055		
収支(A)－(B)		371,380		

注意

- 1 1年間(年度途中から管理を行った場合は、その途中の日から年度末まで)の収支を記入してください
- 2 年度毎に作成してください。

(別紙3)

令和7年度 事業実施決算書

団 体 名 社会福祉法人 東北福祉会

(単位:円)

事業名	事業実施決算								
	応募人数	収入①			支出②				収支①-②
		参加費	その他	計	講師謝礼金	材料費等	その他	計	
該当なし				0				0	0
				0				0	0
				0				0	0
				0				0	0
				0				0	0
				0				0	0
				0				0	0
				0				0	0
				0				0	0
				0				0	0
				0				0	0
				0				0	0
				0				0	0
				0				0	0
				0				0	0
計		0	0	0	0	0	0	0	0

せんだんの杜ものう組織体制図

<令和7年4月1日現在>

